

好きなことを仕事にするとは －漫画家 荒達哉 氏－

令和6年12月19日(木)に豊島セミナーを開催しました。今年度の講師は豊島高校の卒業生であり、漫画家の荒達哉先生です。今回の講演テーマは「好きなことを仕事にするとは」。

バレーボール部に所属していた高校時代から漫画家としてデビューに至るまで、そしてプロになった現在から高校生活を振り返ったお話をしてくださいました。

なんとハリガネサービスの登場人物を実際に描きながらの講演でした。その他にもライブドローイングで似顔絵を描く姿に生徒たちはくぎ付け。



荒先生が漫画家を目指したのは高校3年生とのこと。部活動を引退し受験勉強に励んでいたとき、祖父の書庫で第五福竜丸に関する事故などの戦時中の資料を目にするようになりました。

当時の凄惨な出来事を知ると同時に、後世に自分のメッセージを残したいと考えるようになりました。そのことがきっかけで昔から絵を描くことが好きだった荒先生は漫画家を志すようになります。

豊島高校を卒業してからアルバイトやアシスタント生活を過ごし、2013年からバレーボールを題材にした漫画「ハリガネサービス」を週刊少年チャンピオンにて連載開始しました。現在は月刊少年チャンピオンにて「ヒュドラブレイク」を連載されています。



生徒達にとって荒先生が華々しく輝いて見える一方で、講演の終盤では漫画家という職業の大変さ、今回のテーマである「好きなことを仕事にするとは」についてのお話がありました。

「日によっては朝早くから24時を回るまで漫画を描くこともあります。これが自分の全く興味のないことや嫌いな仕事だったら、多分同じように働けないです。今の時代、職を変えることは当たり前になってきて、実際に僕の友達でも転職をした人は沢山います。でも、絵を描くことは好きなことだから苦じゃないし、続けることができます。」



漫画家としてプロになった現在の視点で高校時代を振り返り、当時頑張っていたことが現在の仕事に活かされていること、好きなことを仕事にしているからこそ続けられているという荒先生の言葉一つ一つに、生徒たちは最後まで集中して耳を傾けていました。

荒先生からの沢山のメッセージを受け取った生徒たちは、自らの進路について改めて考える機会となりました。

生徒たちの感想

・講義の休み時間にハリガネサービスを少し読んでみたら面白かったので続きも読んでみたいと思いました。

・絵を描きながらお話をしてくださったので、とても楽しい時間になりました。自分の将来の仕事の仕方について考える機会にもなり、良かったです。ありがとうございました。

・やりたいことはちゃんとやった方がいいんだなと思いました。好きなことを仕事にすることはすごく努力が必要だと思うけど、それも楽しいんだろうなと思いました。私も好きなことを仕事にしたいです。